

2023年度実施

【2020年度・2022年度修了生対象】

修了後アンケート

集計結果

2023年10月

大阪産業大学 大学院

目次

○修了後アンケート実施概要	1
○修了後アンケート集計結果	2
○総評	7

<アンケート実施概要>

調査目的：修了後アンケートを実施することにより、アンケートを通して修了生が本学での大学院生活を振り返り、教育や学生生活についての意見を集計することで、本学の教育研究活動を評価し、その質向上や改善に繋げる。

調査対象：2020年度修了生（2020年3月修了、2019年9月修了）

2022年度修了生（2022年3月修了、2021年9月修了）

実施方法：Webによるアンケート（本学で連絡先を把握している修了生のみを対象）

実施期間：2023年8月25日～2023年9月30日

アンケート設問内容：選択式7問、自由記述3問

設問	選択肢
【1】現在のあなたの状況にもっとも当てはまるものをご回答ください	①正社員 ②契約社員③派遣社員 ④アルバイト・パートタイム ⑤学生 ⑥その他
【2】あなたが大学院で身に付けた知識や能力等のうち、現在の仕事や学習に役立っていると思うものとして、あてはまるものをお選びください。（最大3つまで）	①一般的な教養 ②分析力や問題解決能力 ③専門分野や学科の知識 ④批判的に考える能力 ⑤異文化の人々に関する知識 ⑥リーダーシップの能力 ⑦人間関係を構築する能力 ⑧他の人と協力して物事を遂行する能力 ⑨異文化の人々と協力する能力 ⑩地域社会が直面する問題を理解する能力 ⑪国民が直面する問題を理解する能力 ⑫文章表現の能力 ⑬外国語の運用能力 ⑭コミュニケーションの能力 ⑮プレゼンテーションの能力 ⑯数理的な能力 ⑰コンピュータの操作能力 ⑱時間を効果的に利用する能力 ⑲グローバルな問題の理解 ⑳その他
【3】あなたが大学院でもっと身に付けておけばよかったと思うものとして、あてはまるものをお選びください。（最大3つまで）	①学習（幅広い教養） ②学習（専門的な学び） ③卒業研究・ゼミ ④部活動・サークル・課外活動 ⑤ボランティア活動 ⑥海外留学 ⑦インターンシップ・就業体験 ⑧資格取得 ⑨友人との交流・人間関係作り ⑩趣味活動 ⑪アルバイト ⑫その他
【4】あなたが大学院で力を入れたことは何ですか。あてはまるものをお選びください。（複数回答可）	①学習（幅広い教養） ②学習（専門的な学び） ③卒業研究・ゼミ ④部活動・サークル・課外活動 ⑤ボランティア活動 ⑥海外留学 ⑦インターンシップ・就業体験 ⑧資格取得 ⑨友人との交流・人間関係作り ⑩趣味活動 ⑪アルバイト ⑫その他
【5】あなたが大学院でもっと取り組んでおけばよかったと感じることは何ですか。あてはまるものをお選びください。（複数回答可）	①強く実感する ②やや実感する ③あまり実感しない ④まったく実感しない
【6】大学院での学びや経験が自身の成長につながったと実感していますか。	①とても勧めたい ②まあ勧めたい ③あまり勧めたくない ④まったく勧めたくない
【7】卒業研究科・専攻を他の人にも勧めたいと思いますか。	①とても勧めたい ②まあ勧めたい ③あまり勧めたくない ④まったく勧めたくない
【8】大学院に進学しようと思ったきっかけ・動機について、具体的にご記入ください。	自由記述
【9】その他、大学院での生活を振り返って、良かった点や体験があれば、具体的にご記入ください。	自由記述
【10】今後、本学がより良くなるためには、どのようなことが必要だと思いますか。	自由記述

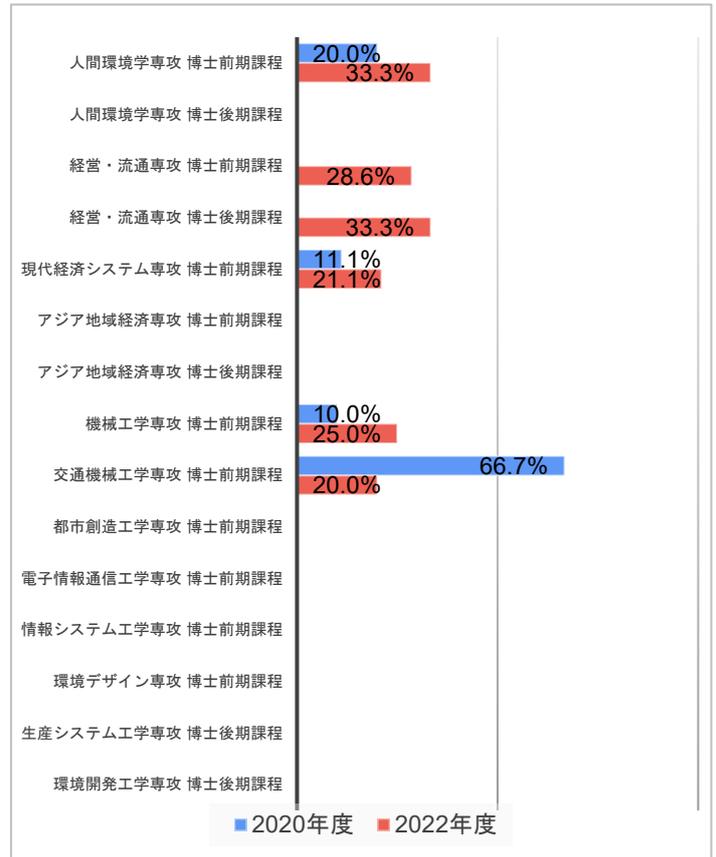
修了後アンケート(2023年度実施)

●単純集計

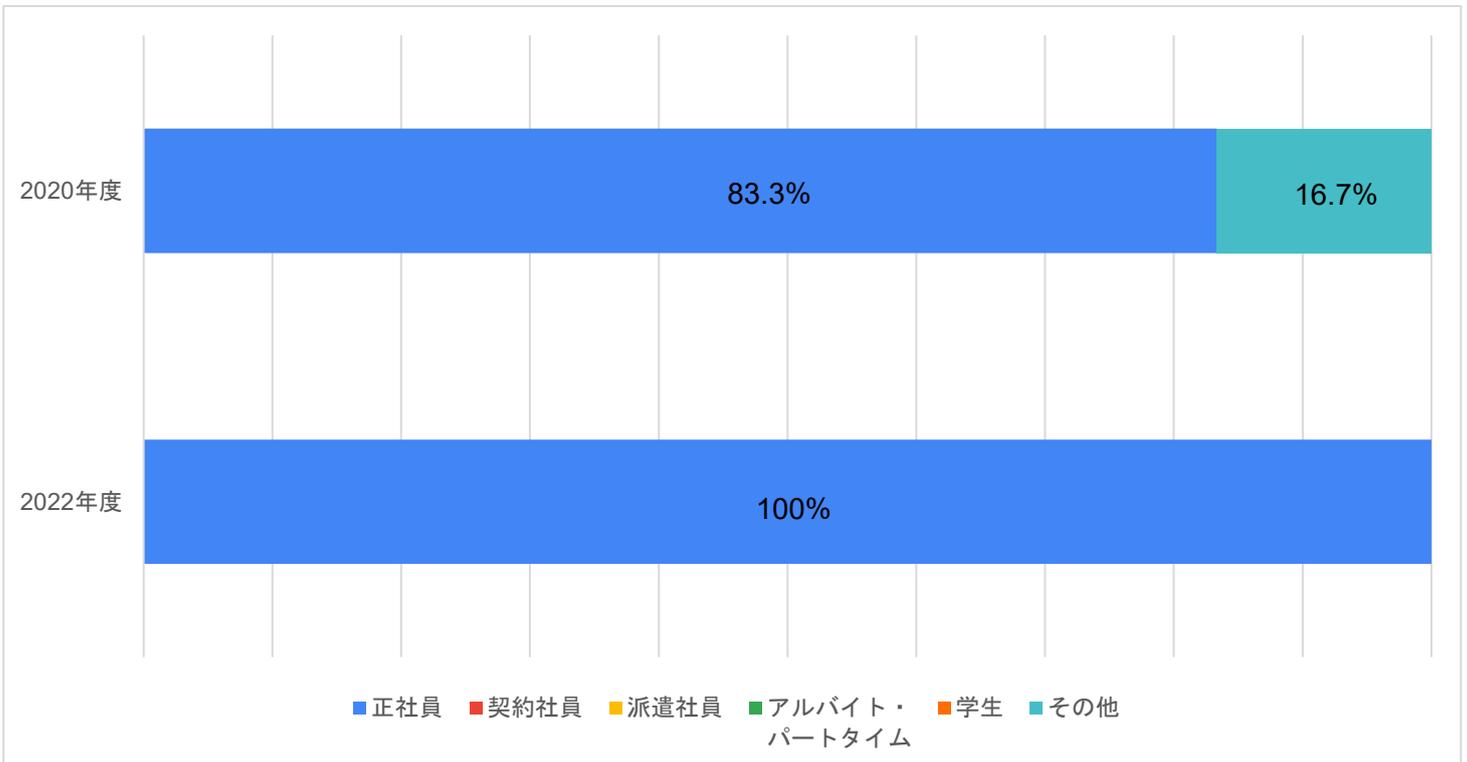
2020年度・2022年度修了生 回答状況

専攻別回答数一覧

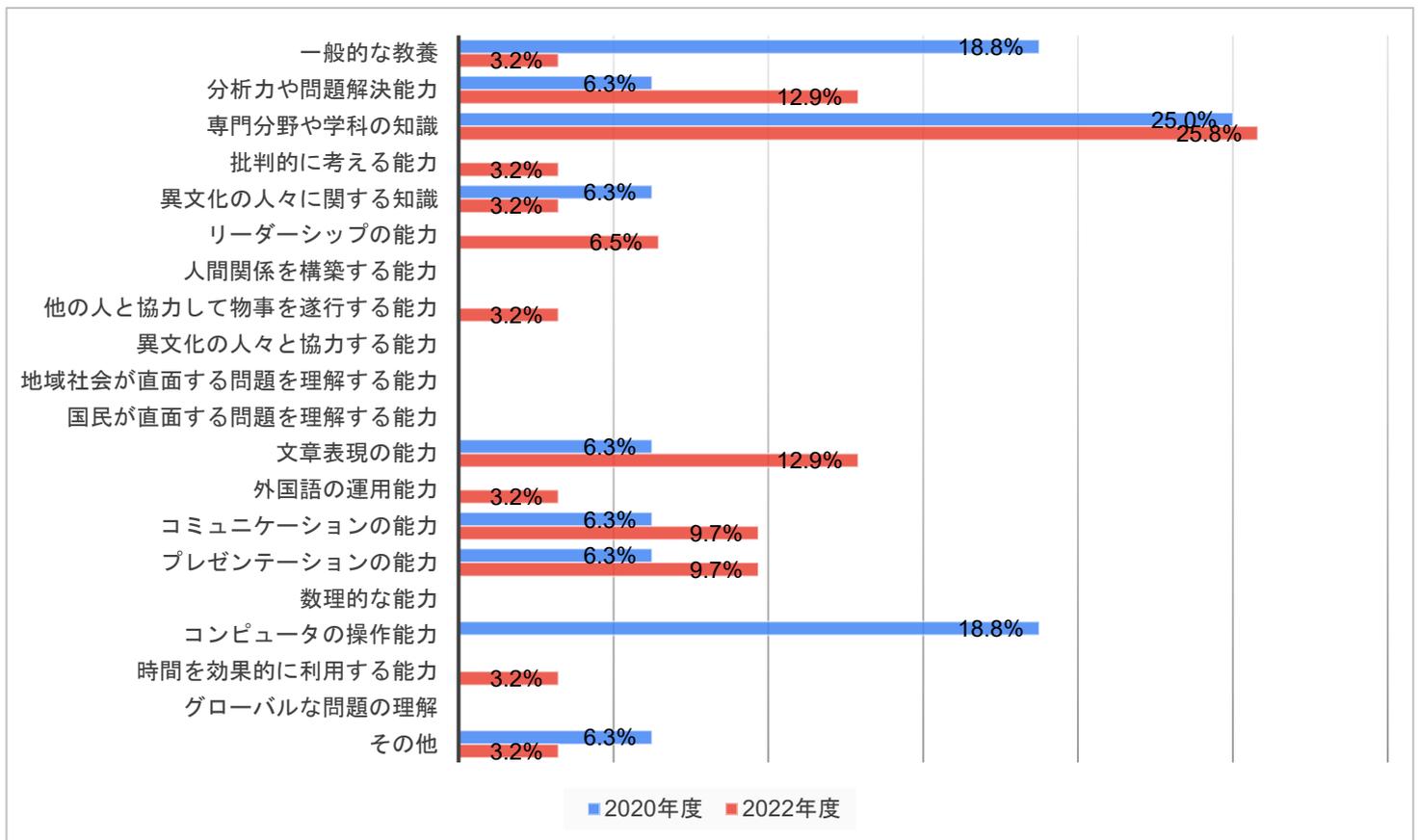
学科	2020年度			2022年度		
	発送数	回答数	回答率	発送数	回答数	回答率
人間環境学専攻 博士前期課程	5	1	20.0%	3	1	33.3%
人間環境学専攻 博士後期課程	1	0	0.0%	0	0	0.0%
経営・流通専攻 博士前期課程	3	0	0.0%	7	2	28.6%
経営・流通専攻 博士後期課程	0	0	0.0%	3	1	33.3%
現代経済システム専攻 博士前期課程	18	2	11.1%	19	4	21.1%
アジア地域経済専攻 博士前期課程	1	0	0.0%	2	0	0.0%
アジア地域経済専攻 博士後期課程	0	0	0.0%	0	0	0.0%
機械工学専攻 博士前期課程	10	1	10.0%	4	1	25.0%
交通機械工学専攻 博士前期課程	3	2	66.7%	5	1	20.0%
都市創造工学専攻 博士前期課程	1	0	0.0%	1	0	0.0%
電子情報通信工学専攻 博士前期課程	1	0	0.0%	0	0	0.0%
情報システム工学専攻 博士前期課程	0	0	0.0%	1	0	0.0%
環境デザイン専攻 博士前期課程	1	0	0.0%	1	0	0.0%
生産システム工学専攻 博士後期課程	0	0	0.0%	0	0	0.0%
環境開発工学専攻 博士後期課程	0	0	0.0%	0	0	0.0%
	44	6	13.6%	46	10	21.7%



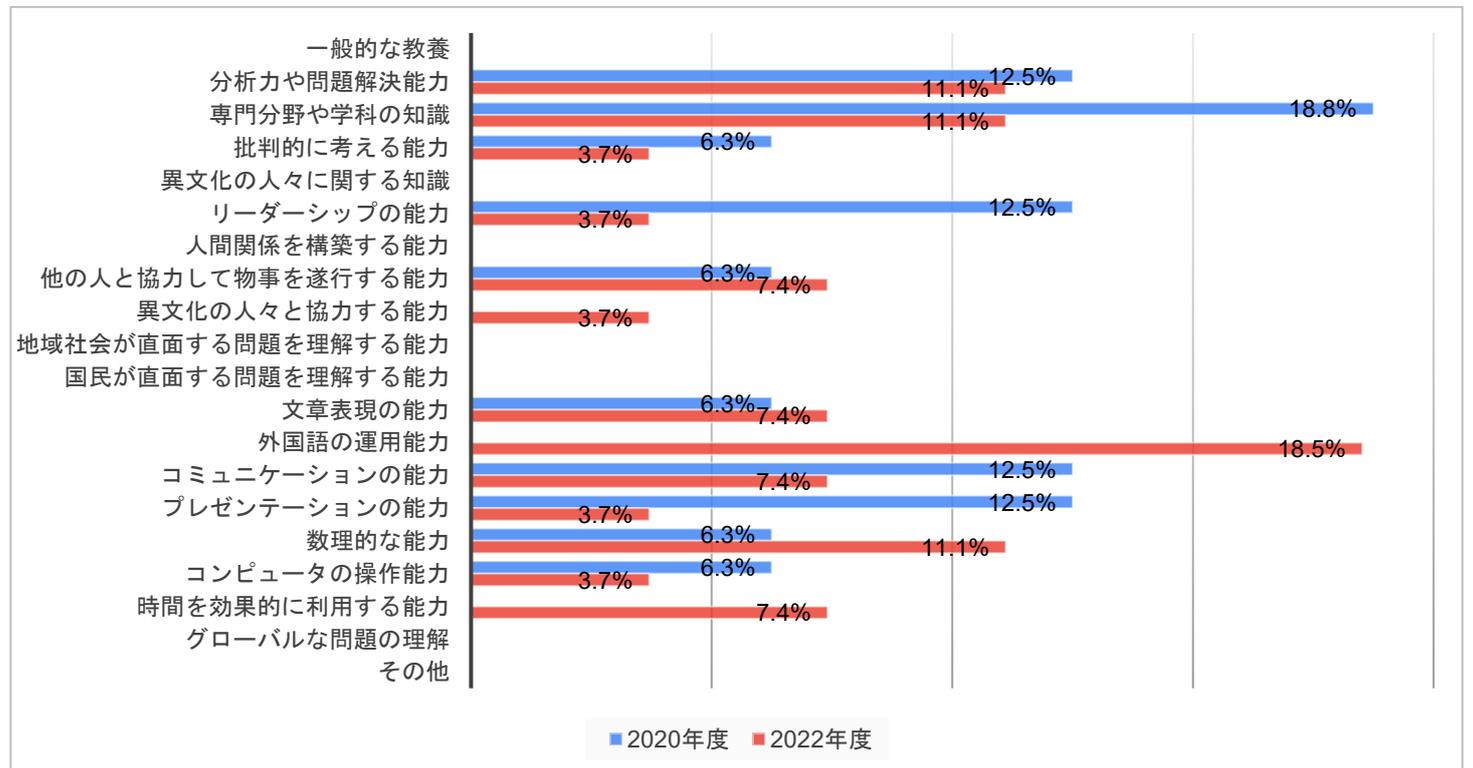
【1】現在のあなたの状況に最もあてはまるものをご回答ください。



【2】あなたが大学院で身に付けた知識や能力等のうち、現在の仕事や学習に役立っていると思うものとして、あてはまるものをお選びください。（最大3つまで）

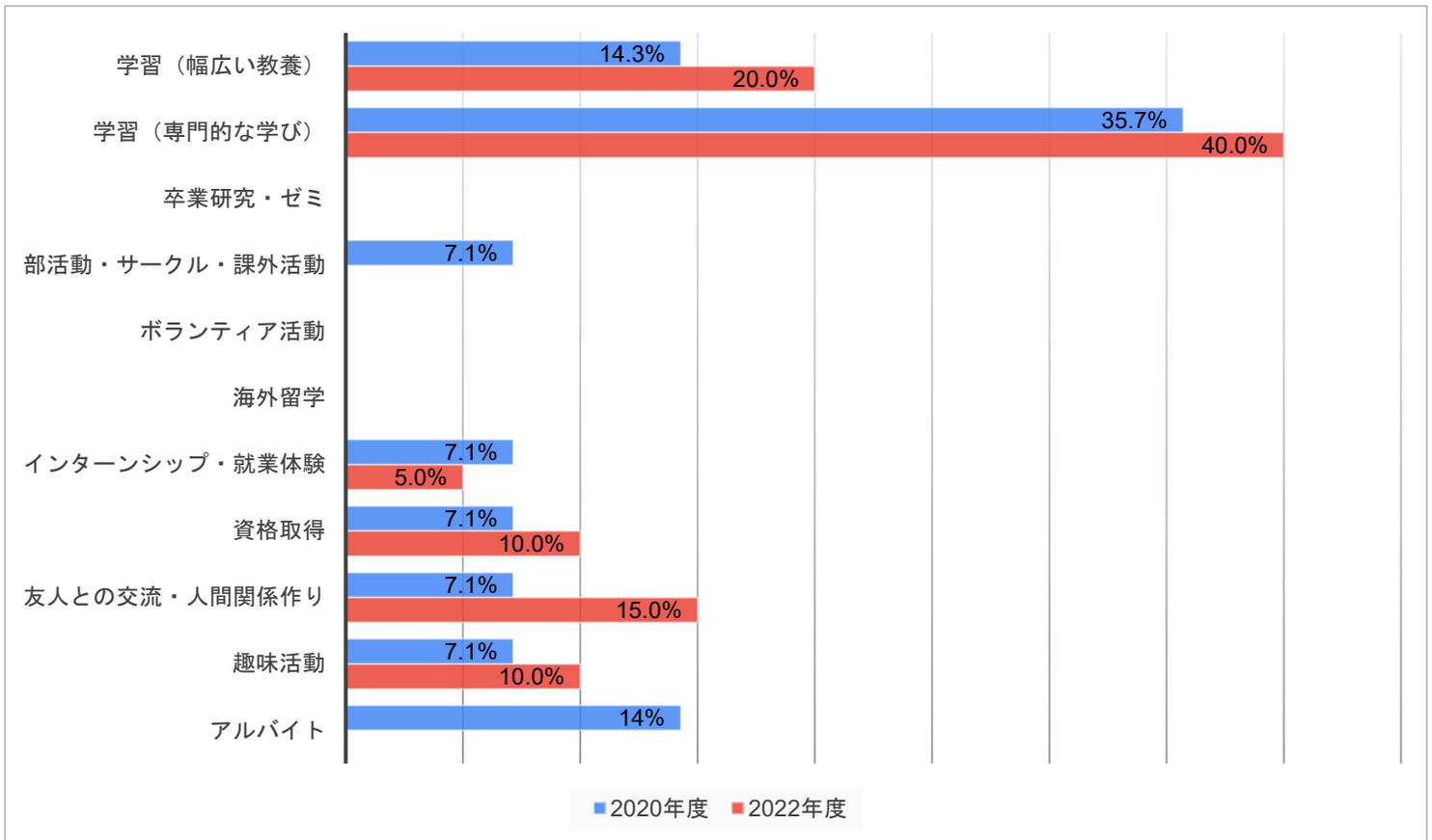


【3】あなたが大学院でもっと身に付けておけばよかったと思うものとして、あてはまるものをお選びください。（最大3つまで）

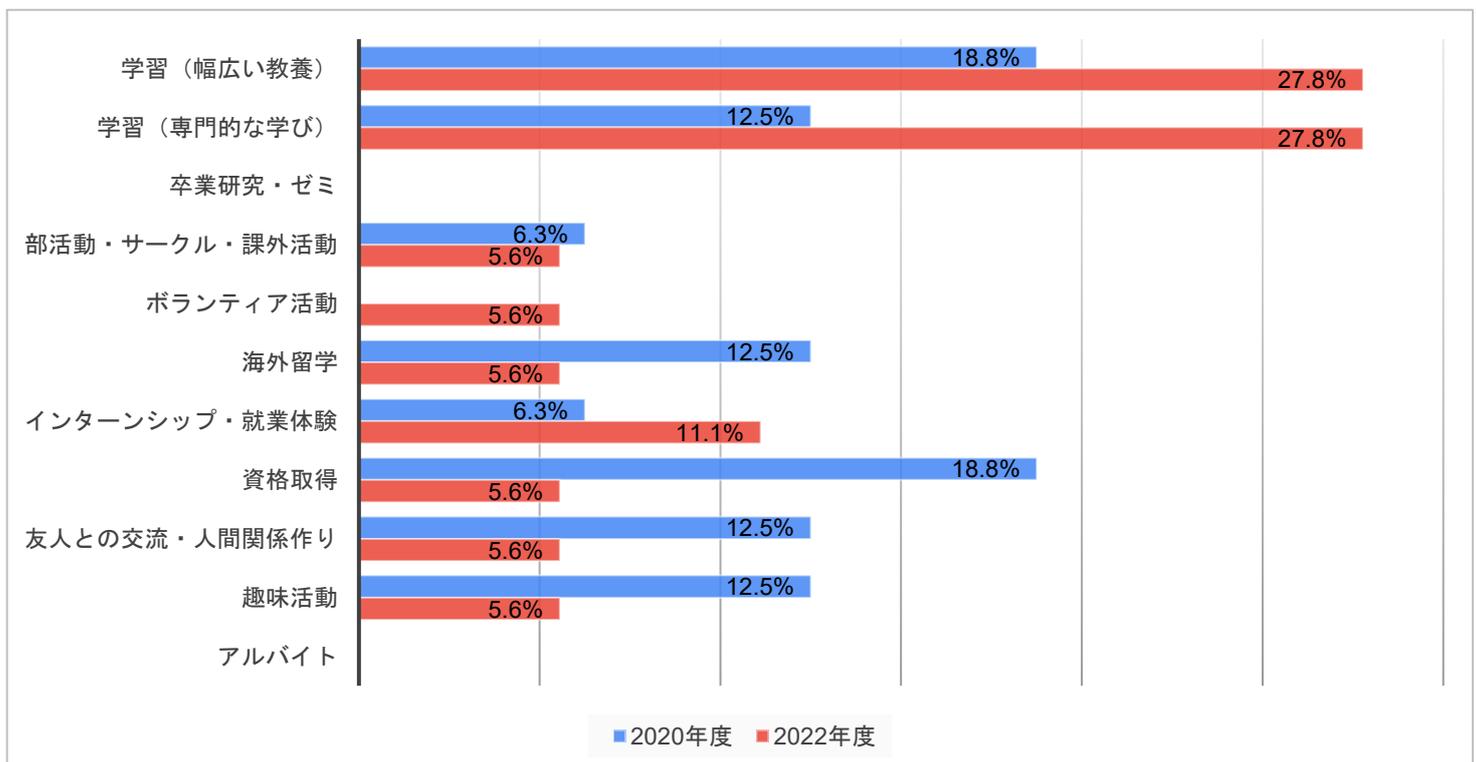


修了後アンケート(2023年度実施)

【4】あなたが大学院で力を入れたことは何ですか。あてはまるものをお選びください。（複数回答可）

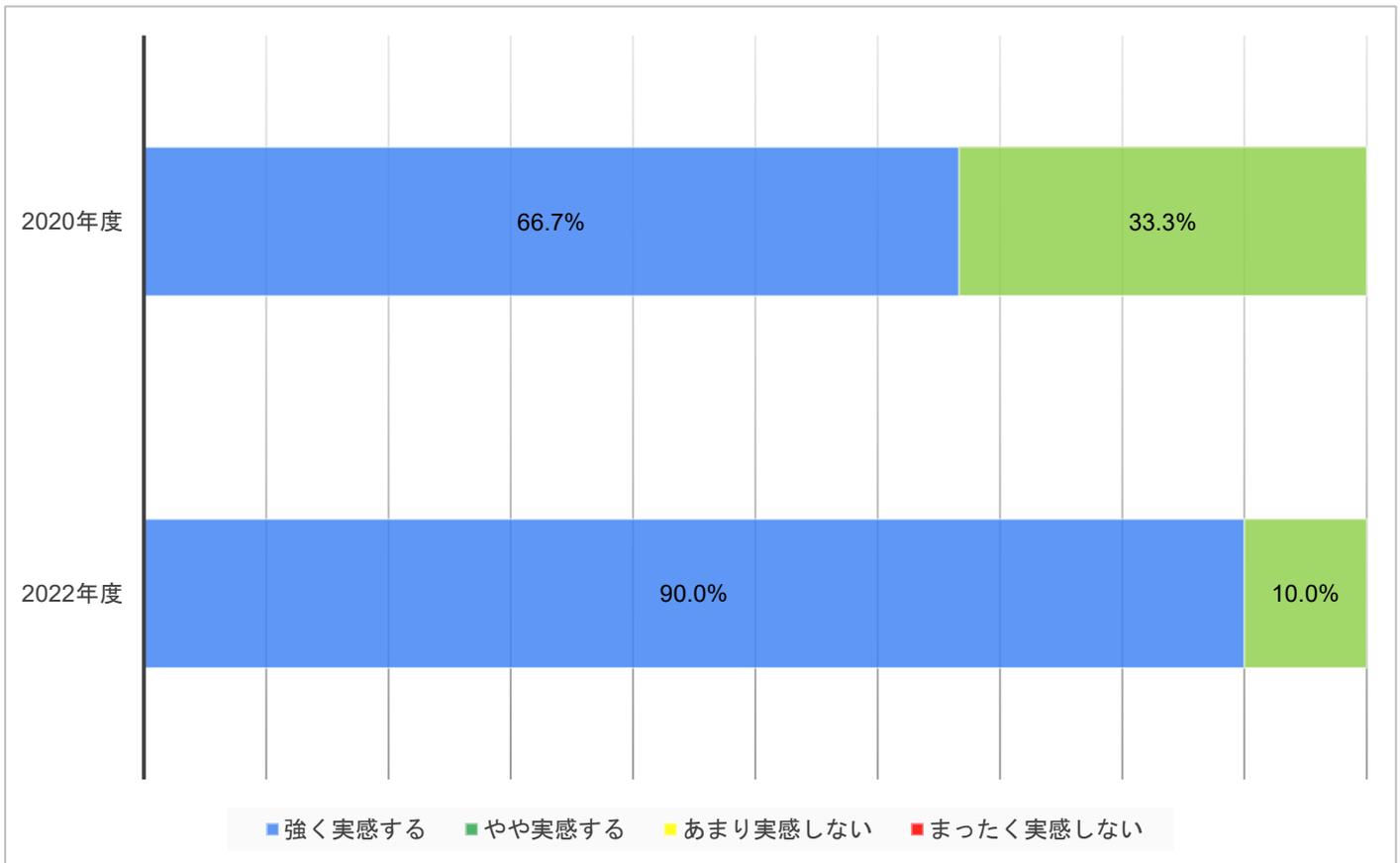


【5】あなたが大学院でもっと取り組んでおけばよかったと感じることは何ですか。あてはまるものをお選びください。（複数回答可）

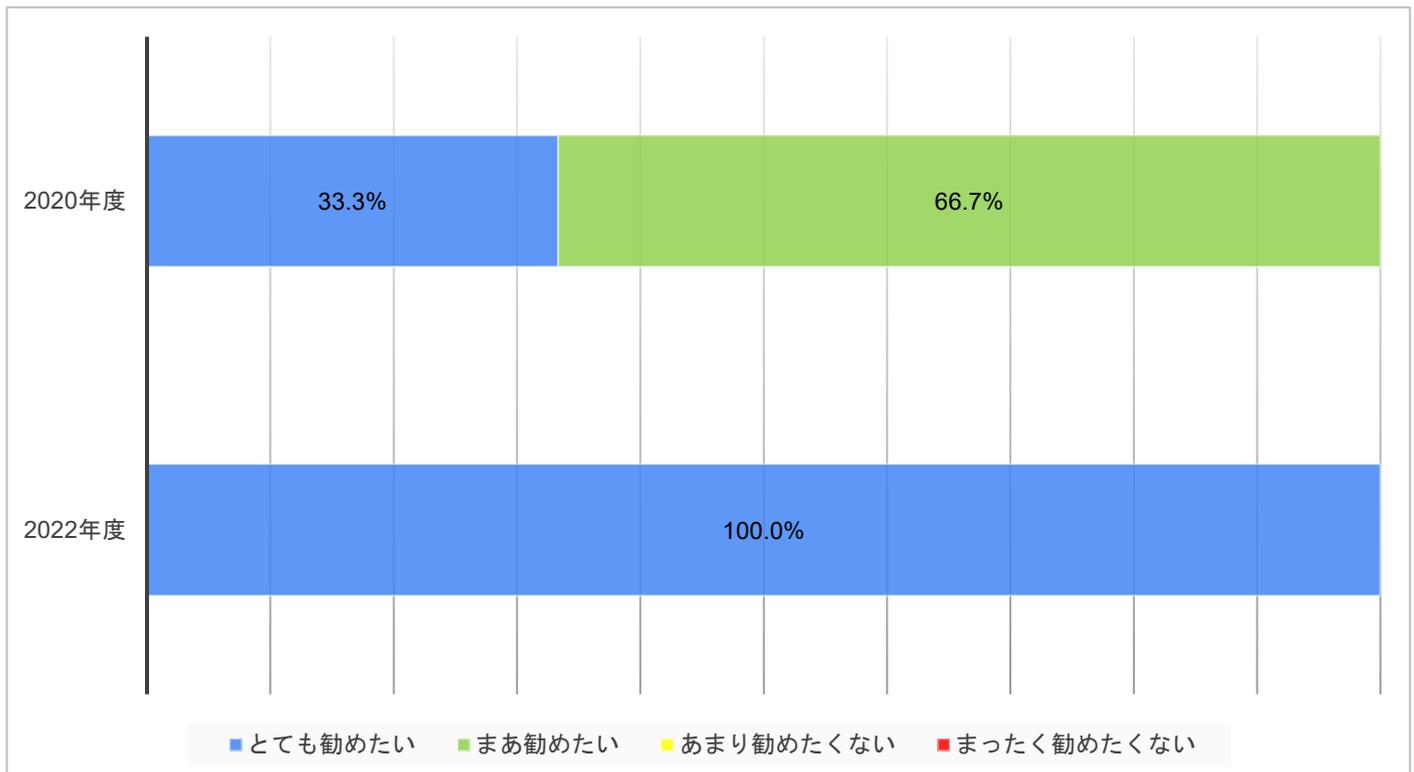


修了後アンケート(2023年度実施)

【6】大学院での学びや経験が自身の成長につながったと実感していますか。



【7】卒業研究科・専攻を他の人にも勧めたいと思いますか。



修了後アンケート(2023年度実施)

【8】大学院に進学しようと思ったきっかけ・動機について、具体的にご記入ください。

○2020年度修了生の回答

- 税理士試験における税法科目免除
- より専門的な知識の習得のため
- 理系なので院進が一般的だと考えていた
- 大学仕事をするために、大学院に進学しなければなりません。
- もっと研究したいと思ったからです。
- 就職先の拡充のため

○2022年度修了生の回答

- さらに学びたい
- 卒業研究のテーマに対して、もっと深く勉強したかったから
- 興味があった宇宙についてもっと研究したかったため
- 税理士資格の取得のため
- 税理士試験免除のため
- 専門的な知識もっと勉強したかった。
- もっと深い経営知識を学びたい

【9】その他、大学院での生活を振り返って、良かった点や体験があれば、具体的にご記入ください。

○2020年度修了生の回答

- 大学院生活で得た一番大きい財産は「友」です。同じ志を持つ仲間ができたことは最大の利点です。次に物事をこれまで以上に広い視野を持つてみることで、多角的にみるように努める力がついたと感じています。
- 縦の繋がりに幅が出る
- 時間を自由に使えたことが良かった。車好きの同期と車でドライブすることで、車が好きになり、今の仕事に繋がったと思う。
- 指導先生との演習、確かによく勉強しました。

○2022年度修了生の回答

- 論文発表を学外に向けてできたことは非常に大きな経験となりました当然発表までに用意する物は多く大変でしたが、その大変さこそ良い経験でした。また、他大学の教授からの質問に対する受け答えなどは、いいコミュニケーションの時間とすることができました。話すために何が重要でどういう経緯か等、素早く多くの情報を伝えるためにはどうしたらいいか考えさせられました"
- 修士論文の作成を通じて国語力を身に付けることができたこと
- 同じ目標を目指す仲間に出会えたこと

【10】今後、本学がより良くなるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

○2020年度修了生の回答

- 他大学との交流会があれば魅力だと感じた
- 資格等の取得を強く勧める試み
- 就活サポート
- 今はグローバル時代なので、だから、大学の学部生だけではなく、大学院生は外国との交流は多くなったほうが良いと思う。特に、学部と研究学科は夏休みと冬休みで、海外研修のようなプロジェクトは多くがあったほうが良いと思う。

○2022年度修了生の回答

- 研究に力を入れる
- 経済学研究科なので、経済学に関する勉強の機会があればよかったですと思います。

総 評

修了生が修了後に仕事、学習に役立っている知識や能力等として、特に「専門分野や学科の知識」「分析力や問題解決能力」「文章表現の能力」と回答されている。大学生活でもっと身に付けておけばよかったと思う能力については、「外国語の運用能力」が多く回答されている。この能力は学部卒業生の回答と一致しているため、今後検討していく必要がある。

また、本学が今後より良くなるために「他大学との交流」「外国との交流」など本学だけでなく、他大学などと広く協力して教育・研究を行う必要がある。

全体として、修了生が本学での学修成果や学生生活を高く評価する回答が多かった。

今後、これらの意見を活かして今後の本学をより改善していく必要がある。